

◆訪問介護ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ
 ◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆暮らしサポート サポート・ワン
 ◆学童・託児ナイス・キッズ◆鍼灸てのひら治療院
 ◆喫茶てのひら◆酸素BOX◆コーラス教室

S O S vol. 301通信
 R7年9月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目 113 496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922

ホームページ URL <http://www.s-o-s.co.jp>

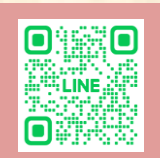
問合わせ・見学 大歓迎！！
 ≪利用状況案内板 (☆募集中★満員)≫

★ナイス・ケア/訪問介護・居宅介護・重度訪問介護
 ☆ナイス・デイ/通所介護
 ・定員19名/日

☆愛宕の家/住宅型有料老人ホーム
 ・定員17名：現在入居者14人

☆つしま紹介所/有料職業紹介

☆サポート・ワン/暮らしサポート
 ※自費負担の在宅サービスです



≪10月行事予定≫

3日 喫茶 or 買物支援
 5日・25日 手打ちうどん作り
 8日 買物 or 喫茶支援
 書道の日

10日 外食 DAY
 18日 喫茶 or 買物支援
 20日 避難訓練
 23日 書道の日
 25日 お抹茶を楽しむ
 28日 喫茶 or 買物支援
 30日 感染訓練、お抹茶を楽しむ
 ※秋の大運動会&遠足は検討中♪
 ※喫茶外出や外食 DAY など、社会参加活動は場所や状況を踏まえて実施しています。

≪営業お知らせ≫

喫茶・軽食てのひら
 営業日：月・火・木・金・土・日
 定休日：水
 時間：9:00-14:00(ラストオーダー 13:30)
 ◆モーニングは 12:00 迄


高気圧 ROOM 酸素 BOX
 営業日：月・火・木・金・土・日(AM)
 定休日：水
 時間：9:00~17:00/完全予約制

鍼灸てのひら治療院
 営業日：月・金・土(第1・3)/完全予約制

てのひらコーラス教室
 第1・3 木曜日：14:30-16:00
 ↓参加者募集中↓

SOS通信はホームページへの掲載
 と合わせ、地域の関係者や事業所、
 ご家族様へも発送しています。
 9月送付部数 55 部

～ ご利用者様、ご家族様 ～
 アンケートのご協力ありがとうございました。
 ご意見を真摯に受け止め、今後の運営に
 活かしていきます。
 今後とも、ご理解とご協力の程、
 何卒よろしく願いいたします。



介護スタッフ、登録家政婦、看護師大募集♪



夏の宴 2025
 笑顔・元気・感謝

金魚すくい

盆供養

バイキング

スタッフによる歌謡ショー

～営業日変更のお知らせ～

【通所介護ナイス・デイ】 【喫茶軽食てのひら】

2025年10月1日(水)より、営業日を下記に変更させていただきます。
 ご利用者様およびご家族様、居宅支援事業所には個別にご連絡させていただきます。

<p>通所介護ナイス・デイ</p> <p>(営業日) 月～土 (休業日) 日 ※夏期冬期休業の変更ありません</p>	<p>喫茶てのひら</p> <p>(定休日) 土曜日・日曜日 ※営業時間の変更ありません ※水曜日は営業いたします</p>
---	--

本人と家族に残された時間を、共に、より豊かに、前向きに過ごせるように／愛宕の家

Aさんは80代。家族の状況から、長年、家庭の大黒柱であり、家族の主介護者でもあった。そんなAさんが末期がんと分かったのが昨年の8月。治療やりハビリを経て、自宅に戻るつもりだったが、主介護者であるAさんは自宅に戻ることには不安を覚え、より生活に近い環境でのリハビリをしながら自宅に帰るために必要な環境と体力を整えたいと考え、今年3月に愛宕の家に入居された。出会った当初、口数は少なく、なんとなく人を寄り付かせない雰囲気があった。

入居された時点から、いくつかの想定をした。自宅に帰れた場合、Aさんだけでなく家族も含めてどんなサービス体制を整えていく必要があるか。病状が進行し、自宅に帰れなかった場合、主介護者であるAさんの帰宅を待ち望んでいる家族にどのように伝えていくのか。そして病状が進行した場合、家族の支援を受けることが難しいAさんの意思決定支援をどのようにしていくのか。これらの想定を言葉にしてAさんと一緒に考えることに徹した。考えていく中で、家族を支援している関係事業所や人権擁護の専門家に相談し、何度も足を運んでもらった。会話を重ねるうちにAさんは、一つ一つ言葉を発して気持ちの整理をされた。時間をかけて自分の人生を何度も振り返った。無口だったAさんは、よく笑い、よく話をしてくれるようになった。「こんな風に笑ったことなかったなあ」と教えてくれた。そして、病状が進行しても動じることなく、残される家族のことを想いながら、共に悩みながら、自分の意思をしっかりと固めていった。

8月20日(水)、「これでやり残したことはないね、あとは任せていいね。」と笑顔で言われた。8月24日(土)痛みが出現し、疼痛コントロールが始まった。吐き気や口渇、倦怠感があり、さすっていると気持ちよく眠っていった。そして・・・安心しきった表情で8月28日(木)、息を引き取られた。

Aさんの葬儀に参列させてもらって、ご家族の形をみた時に、それぞれの専門職がやるべきことを真面目にやりつくしたのだと思えた。だからAさんは自分の死が差し迫っているにも関わらず、「今が一番幸せだね」という言葉を残してくれたのだろう。Aさんとそのご家族とのご縁で関わっていただいた方々、そしていつも支えてくれる方々に心より深く深く感謝致します。

Aさんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

家族懇談会と盆供養／愛宕の家

お忙しい中、家族懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。電話や公式 LINE、面会の際など、ご家族とお話する機会が多い愛宕の家ですが、入居されている方のご家族が集まる機会は、この家族懇談会だけです。顔がみえる、話ができる関係を作らせてもらっていることに感謝いたします。

そして、愛宕の家で看取りまで関わらせていただいた方の盆供養を執り行いました。一人一人の写真をみながら、その人のこと、ご家族のことを思い出す、とても大切で、ずっと続いている盆供養の行事です。